

平成27年度 学校目標

【小学校】

No.	学校名	学 校 目 標
1	八 戸	「言語活動の充実に努め、伝え合う力の育成を図る」
2	城 下	「基礎的基本的な学力の確実な定着」
3	吹 上	「分かる」まで、「できる」まで粘り強く追究し、自分の思いや考えを生き生きと表現する子どもの育成。
4	長 者	「協同学習を通し、思考力・表現力を育てる」
5	凵 南	「一人一人に自信を持たせるための学力の育成」
6	中 居 林	「規範意識を身に付け、実践できる子どもの育成を図る」
7	柏 崎	「自分の考えをもち、学び合う子の育成」
8	小 中 野	「基礎・基本の確実な定着を図るすべを身に付けさせる」
9	江 陽	「学ぶ意欲を高める」
10	湊	「聞く力・話す力を鍛える～学習指導と読書指導の充実を通して～」
11	青 潮	「パワーアップ青潮～みんなでリンクアップして～」
12	白 銀	「基礎・基本の定着を図る」
13	白 鷗	「問いをもち、みんなで解決する子」の育成
14	白 銀 南	「目指せ！みなみっ子」
15	町 畑	「確かな学力の向上を図る」
16	美 保 野	「考えをもち、進んで表現する子どもの育成」
17	鮫	「基礎学力の定着を図る」
18	種 差	「子どもの見取りを生かした授業づくり」
19	大 久 喜	「基礎・基本の確かな定着を図る」
20	金 浜	「子どもの表現力（話す、書く）を育む」
21	根 城	「主体的に考え表現する力の育成」
22	白 山 台	「学習に対する積極性の向上を図る」
23	江 南	「自分の考えを伝える力を育てる」
24	田 面 木	「考えや思いを説明する力を高める」
25	下 長	「聞く力（聴く力）を育てる」
26	城 北	「自分に自信を持って学習に取り組む子の育成～算数科における指導を中心として～」
27	高 館	「学びの基礎を育むために、学習習慣を身につけさせ、基礎・基本の確実な定着を図る」
28	根 岸	「面倒がらずに自ら活動する子～自尊感情と自己有用感を育む」
29	日計ヶ丘	①アンダーアチーバーの児童を減らし、オーバーアチーバーを増やす。 ②柔軟性と投力を高める。 ③きまりを守る心を育てる
30	是 川	「字を丁寧に書く」
31	三 条	「読み取る力を高める」
32	西 園	「ねばり強く最後までやり遂げる子の育成」
33	明 治	「学習意欲の向上と学習規律の定着」～自己有用感の高まりを目指して～
34	桔 梗 野	「基本的な生活習慣や学習習慣の定着」
35	轟 木	「どの子にも基礎的・基本的内容の確かな定着を図る」
36	多 賀	「基礎学力を身に付け、笑顔あふれる児童の育成を図る」
37	多 賀 台	「自らを律する心を育てる」
38	豊 崎	「豊崎を自慢できる子」
39	新 井 田	「めあてを持って自分の力を発揮する子の育成」
40	旭 ヶ 丘	「自らの成長を実感し、自信を持てる児童の育成」
41	市 野 沢	「基礎的基本的な知識・技能の確実な定着」
42	中 野	「相手意識をもって話したり聞いたりすることができる子の育成」
43	鳩 田	「『おりあい』をつけながら考えを伝え合い、聞き合い、深め合う子の育成を図る」
44	島 守	「基礎・基本の定着を図る」
45	田 代	「自分の考えを、自信をもって適切に伝え合える児童生徒の育成」

【中学校】

1	第一	「基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る」
2	第二	「生徒一人一人の有用感が高まる教育活動の推進～特別支援教育の視点を生かして～」
3	第三	「不適応生徒ゼロを目指した教育活動の推進～特別支援教育の視点を生かして～」
4	長者	「挨拶から始まる『思いやり』『団結』『けじめ』の心を持つ生徒の育成」
5	小中野	「凡事一流…基礎的基本的な知識・技能の確実な定着」
6	江陽	「認め合い 支え合い 高め合い」をキーワードに学習面や生活面で前向きに行動できる生徒の育成
7	湊	「『静』と『動』を使い分けられる生徒の育成」
8	白銀	「確実に基礎学力を定着させ、意欲的に学力向上に取り組むことのできる生徒を育成する。」
9	白銀南	「意見交流の場を通じた、コミュニケーション能力の育成」
10	鮫	「自己を磨き、他を認め、自主的に活動する中学生を育てる」
11	南浜	「目標をもち、継続的に取り組む生徒の育成」
12	根城	「何事にも意欲を持って取り組む生徒の育成」 ～キャリア教育の視点に立った取り組みを通して～
13	白山台	「自分らしさを表現し、生き生きと活動する生徒の育成」
14	下長	「夢を持ち、学び、鍛えあう生徒の育成」
15	北稜	「生徒の学習意欲を高める指導の実践」
16	是川	「確かな学力の育成を図る」
17	三条	「学び合いの中で、自分の考えを発信することのできる生徒の育成」
18	明治	「自らの進路を考え、何事にも主体的・意欲的に取り組む生徒の育成」～チャンス チェンジ チャレンジ の場の設定を通して～
19	市川	文武両輪と絆シャフトの取組により、 「ともに成長し合えるコミュニケーション能力の育成」
20	豊崎	「主体的に学び、ともに高め合う生徒の育成」 ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～
21	大館	「目指す自分に近づくために、自らの課題を自覚し、改善・克服に努める生徒の育成」キーワードは「行動力・実行力」～思いを形にするために～
22	東	「生徒が自分自身の生き方を考え、実現することができる力の育成を図る」
23	中沢	「生徒の学力を高めるための指導法の改善」
24	島守	「聞いたことをもとに考え、表現する力の育成」
25	田代	「自分の考えを、自信をもって適切に伝え合える児童生徒の育成」

平成27年度 学校評価の実施結果（概要）

今年度も市内各小中学校では、教育活動、その他の学校運営の状況について児童・生徒、保護者に対する学校評価アンケートを行うとともに自己評価、学校関係者評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図ること、及び、評価結果等を広く保護者等に公表して、学校・家庭・地域社会の連携協力による学校づくりを進めることを目的として、学校評価を実施しました。

八戸市教育委員会では、学校運営の改善と発展を目指し、学校評価を実効性あるものとする観点から、学校目標に即して精選した重点施策を設定するとともに評価基準を明確にし、学校評価を実施・報告することとしました。

ここでは、市内全小・中学校から報告された学校評価結果について概要を報告します。

1 各校の学校目標について

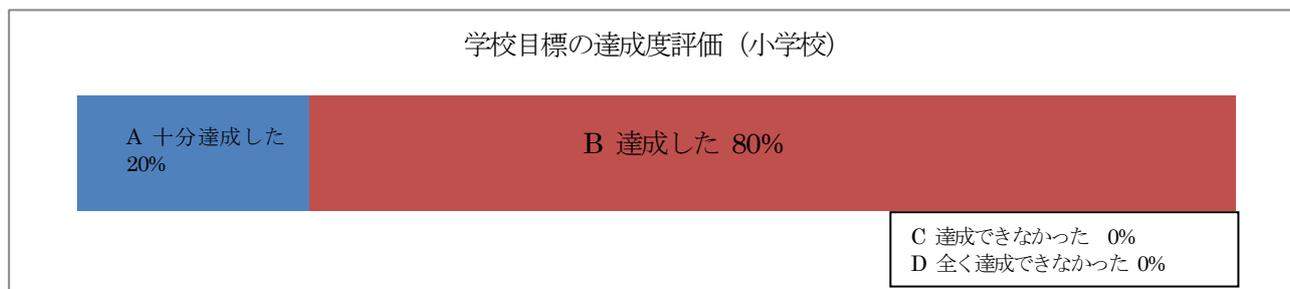
- ・各学校では、前年度の学校評価結果及び児童・生徒の実態等を考慮し、今年度、短期的に特に重点を置いて達成を目指したいと考える学校目標を設定して教育活動に取り組んできました。
- ・今年度も、昨年度と同様に、確かな学力・基礎学力の向上を学校目標に設定して取り組む学校が多くありました。また昨年度と比較して、「表現力」、「書く・話す等の言語活動」、「思いやり」、「心の育成」を目標に設定する学校が多く見られました。

2 達成状況について

(1) 学校目標の達成状況

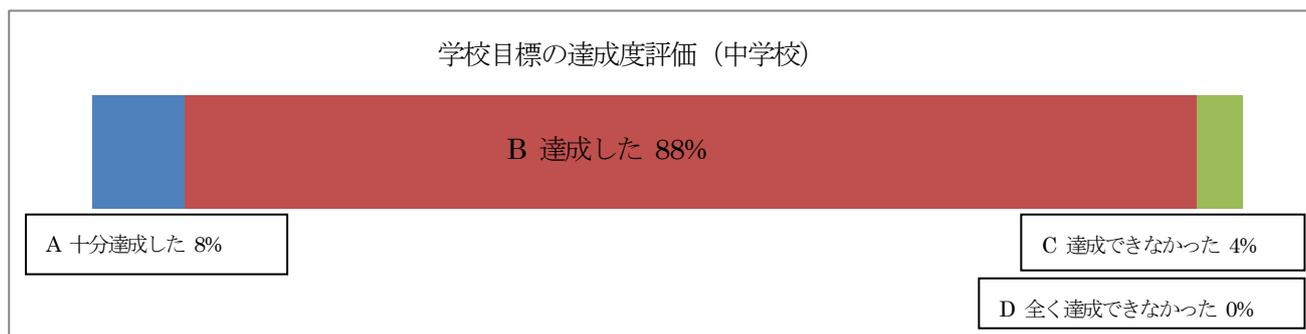
- ・市内小学校の学校目標の達成状況は、

A—9校（20.0%） B—36校（80.0%） C—0校（0%） D—0校（0%） でした。



- ・市内中学校の学校目標の達成状況は、

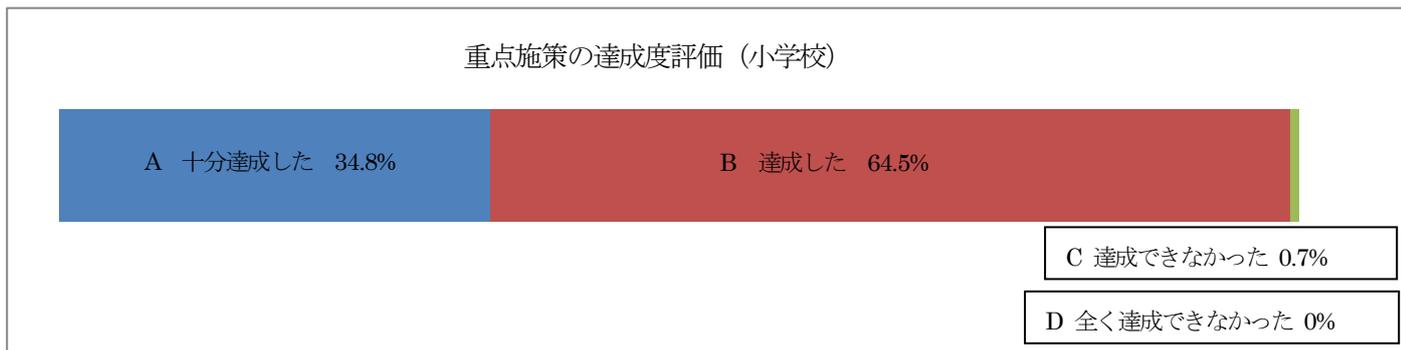
A—2校（8.0%） B—22校（88.0%） C—1校（4.0%） D—0校（0%） でした。



- ・小学校はA、Bを合わせると100%、中学校は96%となり、ほとんどの学校が今年度の学校目標をおおむね達成したと評価しています。

(2) 重点施策の達成度状況

- ・学校目標の達成に向けて、各学校では、2～7項目の重点施策を設定して取組を進め、その達成状況を評価基準に照らして評価しました。
- ・市内小学校の重点施策評価の集計結果は、
A－48項目（34.8%） B－89項目（64.5%） C－1項目（0.7%）
D－0項目（0%） でした。



- ・市内中学校の重点施策評価の集計結果は、
A－17項目（21.0%） B－58項目（71.6%） C－6項目（7.4%）
D－0項目（0%） でした。



・小学校、中学校とも「A十分達成した」「B達成した」とされた項目が多くありましたが、「C達成できなかった」と評価された項目もありました。今後の改善方策を検討し、具体的な取組の改善を図っていくことでCの項目を減らしていくことと、「B達成した」で満足せず、「A十分達成した」の項目を増やしていくことが必要です。

3 今後の取組

学校評価の結果を真摯に受け止め、児童・生徒がよりよい学校生活を送れるよう、学校運営の改善と学校・家庭・地域社会の連携、協力による学校づくりを推進し、教育水準の保障・向上を図っていくことが必要です。